

演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美

自治体の概要

【モデル自治体】岩手県洋野町 テーマ「青少年教育」

(1) 地勢・地域条件等

- ・岩手県最北端で青森県に隣接し、東は太平洋、西は北上山地の丘陵地帯
- ・面積：302.96km²
- ・人口：14,739人（15歳未満…9.0%、15～64歳…49.4%、65歳以上…41.6%）



(2) 住民の生活状況の特徴

- ・産業：第一次…19.3%、第二次…29.5%、第三次…51.1%
- ・産業別生産額：①建設業32.8%、②農業21.5%
- ・町内就業者数：7,237人 ・昼夜間人口比率：約85.68%

(3) 教育・文化的環境の特徴

- ・小学校8校、中学校3校、図書館2、体育館2、公民館1
- ・一般社団法人moova（地域との交流拠点づくり・探究学習プログラム）
- ・子どもの第三の居場所事業（居場所の提供・学習支援・生活支援）
- ・生涯学習イメージ：スキルアップや生活の質向上
実践：行ったことがない6割

(4) テーマに関する環境の特徴や課題等

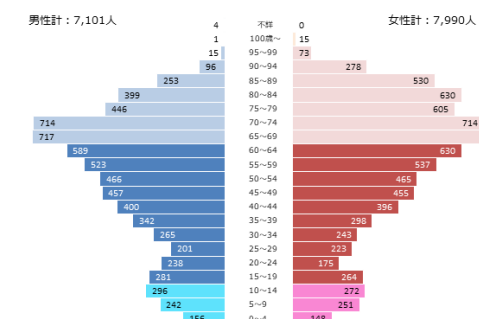
基本理念：「学びを通じて、豊かな人間性と活力ある地域社会の実現を目指す。」

基本目標：①学びの機会の充実、②地域資源の活用、③生涯学習の推進、④地域づくりへの参画

- ・地域学校協働活動の推進
- ・人口減少と高齢化が進行しており、学習機会の提供や地域活動への参加者確保が課題
- ・生涯学習の基盤となる施設の老朽化



2020年 洋野町の人口構成



演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美

2 現行施策の状況 (テーマ: 青少年教育)

【施策】
 豊かな心と体を育む生涯学習のまちづくり

【戦略的な目標】
 町内の生涯学習拠点施設が積極的に活用され、多くの町民がつながりを持ちながら生涯学習に参加し、活動を通じて生きがいづくりや自己実現をめざす。

現行の施策の柱 (区分)	現 行 の 事 業	
	生涯学習・社会教育主管課	他部局等の関連事業
【柱1】 学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民講座「ひろのカレッジ～みんなの学び場～」(各種講座や事業)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県の作家作品展(洋野町立種市図書館) ・ 放課後等デイサービス事業(洋野町社会福祉協議会)
【柱2】 教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭地域連携推進事業(家庭科のミシン授業の補助、朝・休み時間の読み聞かせ、休日支援事業、伝承活動等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子ども第三の居場所 ひろま～れ」(社会福祉法人碧晴会)
【柱3】 生涯学習推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民講座「ひろのカレッジ～みんなの学び場～」(各種講座や事業)の開催 	
【柱4】 家庭教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育セミナー ・ 町民講座「ひろのカレッジ～みんなの学び場～」(各種講座や事業)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター「すまいる♡はぐ」 こども家庭センター こんにちは赤ちゃん訪問事業、産後ケア訪問 そだちの相談、ことばの相談 親子教室 (すべて健康増進課) 久慈地区家庭教育セミナー(岩手県PTA連合会)

演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美

3 課題の分析から新たな計画体系へ

整理した課題

- ①若者の地域離れや教育機会の不足
- ②人口減少と高齢化の進行
- ③若年層の町外流出による、地域活力の低下

根拠となる調査・答申等

- ①洋野町総合計画 (R4～8)
- ②「洋野町生涯学習推進計画」策定のためのアンケート調査

施策の方向性

- ・若者が地域の魅力に改めて気づき、地域のために活動できる機会の創出
- ・世代間交流による学びと文化の継承
- ・住民のニーズを踏まえ、他部局や近隣市町村と連携した事業計画の立案

新たな計画体系

【施策】 未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町

優先順

- 【柱1】地域の魅力を活かした学習機会の充実
 - 【達成目標】 青少年が地域活動への参加を通して、自分の街の魅力に気付くとともに、地域とつながり、地域を盛り上げようとする意識を育む
- 【柱2】世代間交流を通じた若者の活躍機会創出
- 【柱3】住民ニーズを踏まえた推進体制の構築
- 【柱4】学校、家庭、地域との連携

【新規・拡充・継続】 事業名 (年次:1~5)

- 【拡充】 ヒロノジンNEXT♡ラブプロジェクト事業
「ひろのカレッジ～みんなの学び場～番外編」
としての中学生対象の実践学習 (3)
- 【新規】 種市高校と連携した高校生自主企画事業 (2)

4 事業の年次計画と評価フロー図

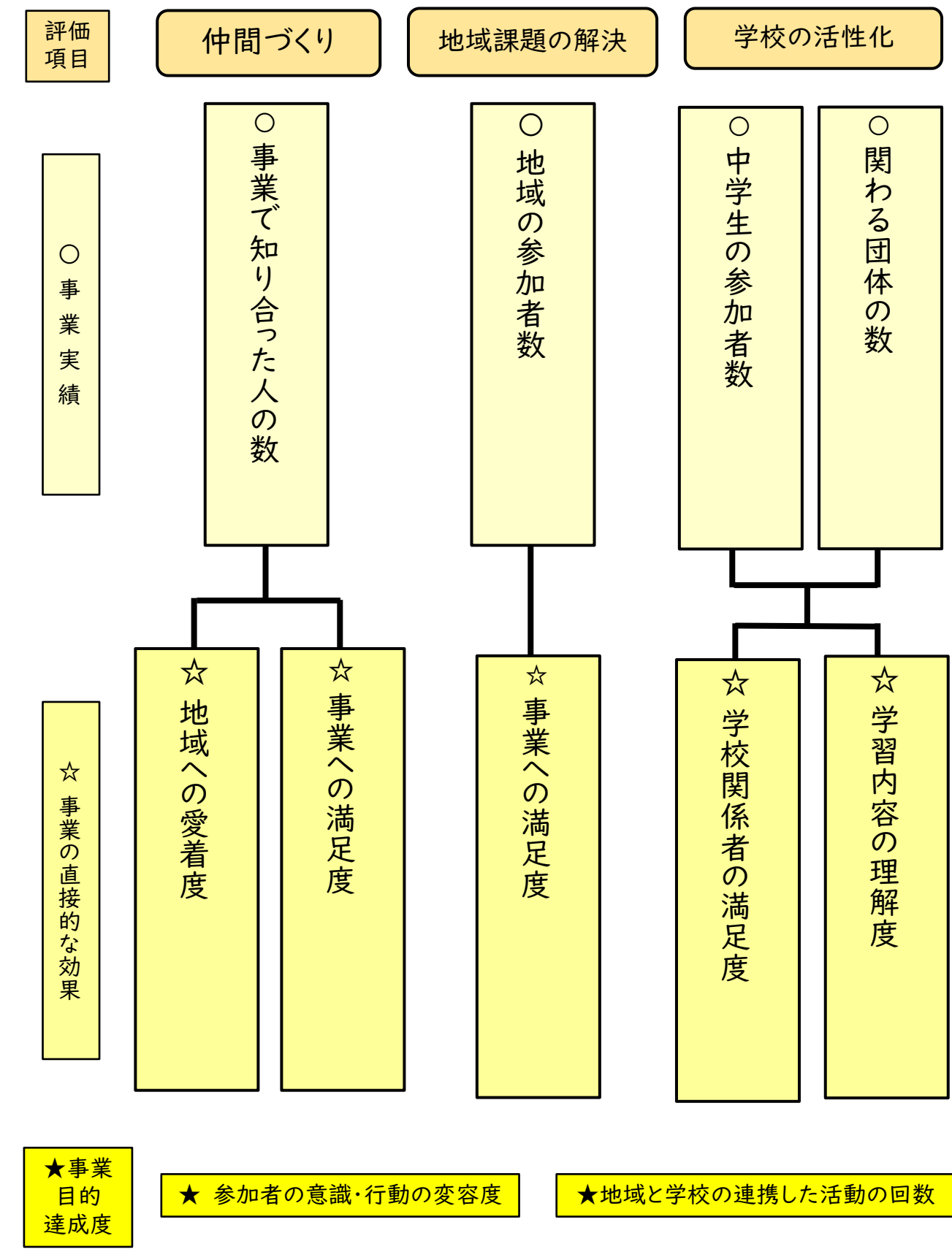
施策	未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町
----	----------------------

施策の柱	地域の魅力を活かした学習機会の充実
------	-------------------

事業名	【拡充】ヒロノジンNEXT♡ラブプロジェクト事業 「ひろのカレッジ～みんなの学び場～番外編」としての 中学生対象の実践学習			
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が学校間の垣根を越え、地域の資源や人材を活かした活動を通して、自分たちが暮らす地域の魅力に気づき、チャレンジ精神を養う。 学校運営協議会と地域学校協働活動を通じて、関係者間の連携を継続する。 			
年次計画	●	●	●	

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	【次年度からの事業実施に向けた準備期間】 ●合同学校運営協議会①(5月:事業の検討) ○3校合同での地域の大人との交流(7月:中1対象) (例:アイスブレイク的なゲーム、トークフォークダンス) → 生徒、地域の大人への感想アンケート ●合同学校運営協議会②(8月:計画、立案) ●合同学校運営協議会③(2月:来年度に向けた準備)	・会議の開催(3回) ・交流会開催(1回) 地域参加者(100人) ・アンケート実施 ・来年度事業決定 ・実施会場等決定	需用費:30
2	【ヒロノジンNEXT♡ラブプロジェクトの実施】中2対象 ●合同学校運営協議会①(5月:今年度事業の確認) ○3校合同① 飛び出せ!ヒロノジン(地域での活動) ○3校合同②ひろのカレッジ～みんなの学び場～への参加 ○3校合同③ 飛び出せ!ヒロノジン(地域での活動) ●合同学校運営協議会②(10月:ワークショップに向けて) ○3校合同④ 魅力発見ワークショップ ●合同学校運営協議会③ (2月:振り返り、次年度に向けて)	・会議の開催(3回) ・運営地域協力者(15人) ・ひろのカレッジ地域参加者(100人) ・中学生アンケート(満足度80%) ・地域参加者アンケート(満足度80%)	需用費:50
3	【ヒロノジンNEXT♡ラブプロジェクトの実施】中3対象 ●合同学校運営協議会①(5月:今年度事業の確認) ○3校合同①「より良い未来の洋野町チャレンジ」発表に向けての準備 ○3校合同② 発表会(中学生からの提言)地域の方とのランチ交流 ●合同学校運営協議会②(2月:事業の振り返り)	・会議の開催(2回) ・運営地域協力者(15人) ・発表会&ランチ交流開催、地域参加者(100人) ・中学生アンケート(満足度80%) ・地域参加者アンケート(満足度80%)	需用費:30 ランチにかかる費用:200

演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美



演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美

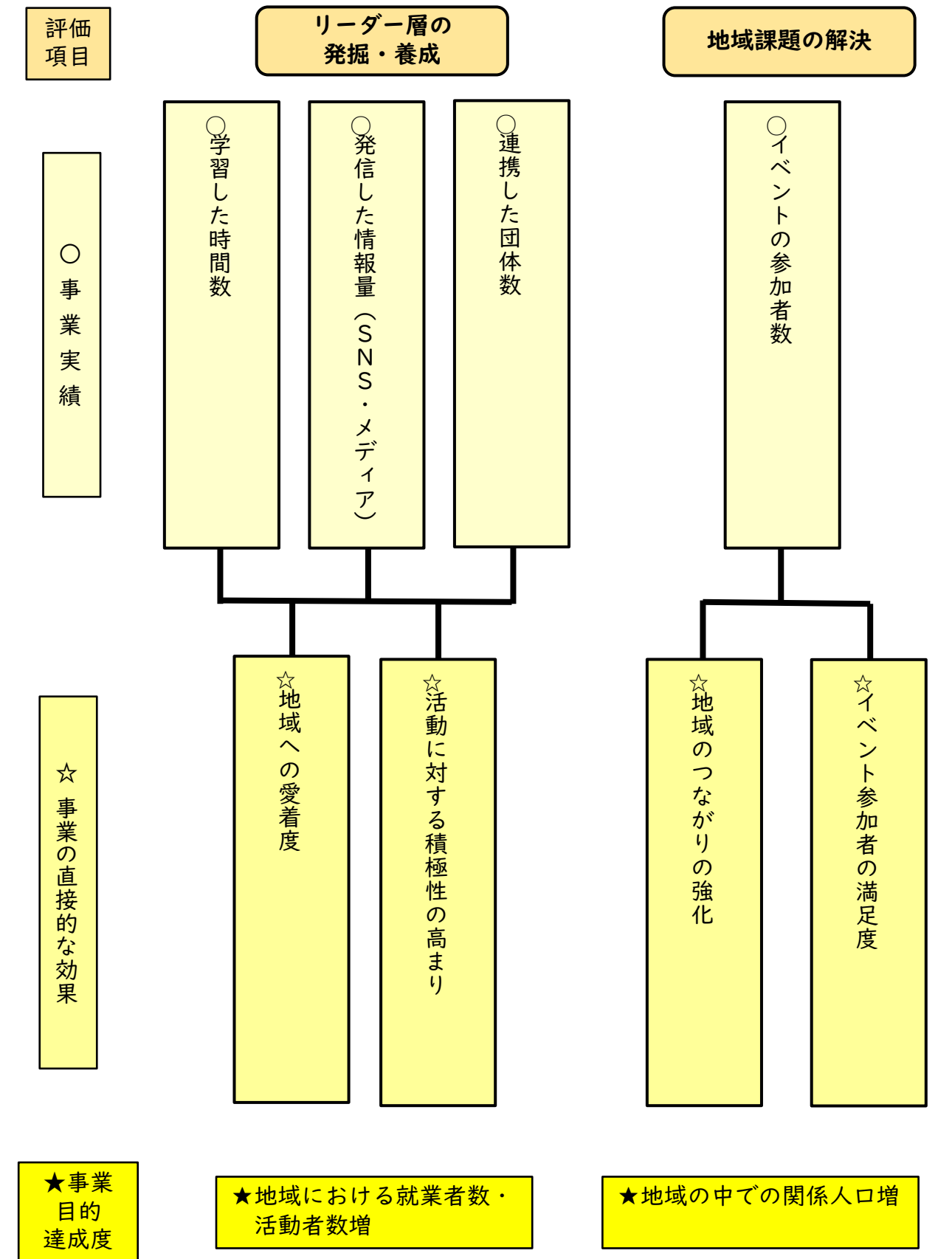
5 事業の年次計画と評価フロー図

施策	未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町
----	----------------------

施策の柱	地域の魅力を活かした学習機会の充実
------	-------------------

事業名	【新規】種市高校と連携した高校生自主企画事業			
事業目標	・高校生が様々な地域住民と関わりながら地域事業を企画し、実施することで地域の魅力に気付き、自ら地域に関わろうとする意識を育む。 ・地域住民が、地域活動に参加することで、若者のチャレンジ精神を支えとともに、住民同士のつながりを強化する。			
年次計画	●	●		

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	【関係者】 ・種市高校(教員、高校生) ・担当職員(生涯学習課、社会教育士、地域コーディネーター等) ・連携先 関係者の会議を年3~4回実施し、進捗報告をする 【自主企画事業の計画(1年生10月~3月)】 ●オリエンテーション(4月) →2年間の流れの確認、3年生による昨年度の取り組み紹介 ●テーマ、内容、会場決め(10~11月) →学級会で話し合っ決定 →会場は担当職員があらかじめ数カ所選定しておく(大野キャンパス、種市海浜公園、セシリアホール等) ●詳細企画・準備(12月~3月) →地域住民へのインタビュー、連携先への連絡(必要に応じて担当職員から仲介者情報等を助言をする) ●会場視察(~3月)	・テーマ、内容、場所決定 ・内容、役割決定 ・連携先決定(3団体)	消耗品費:50 交通費:30 会場費:50
2	【自主企画事業の実施(2年生4月~9月)】 ●物品準備(4~6月) ●連携先との打ち合わせ(4~6月) →担当職員も同席して助言する ●広報物作成・広報(5月頃) →チラシ、SNS、広報誌、回覧板 ●参加者アンケート作成(6月) →運営の満足度、事業内容の満足度、今後に期待すること等 ●事業実施(7~8月) →参加者アンケートを取る ●振り返り(9月) →参加者のアンケート結果を高校生に伝える ●成果物作成・発表(9月) →地域住民が参加できる、担当職員は助言やコメントをする →中央公民館、種市図書館等に展示 ●担当職員が高校生のアンケートを取る(9月) →事業の成果を確認し、次年度以降の実施につなげるため ●次年度オリエンテーションの発表準備(~12月) →担当職員は助言をする	・参加者アンケート満足度90% ・高校生アンケート満足度90%	消耗品費:50 広報費:30 印刷代:10



6 社会教育計画 (計画体系・評価体系)

演習グループ名 B 班			モデル自治体 岩手県洋野町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
004	青森県	橋本 政孝	019	岩手県	谷藤 貴彦
017	岩手県	日脇 春香	513	岩手県	大田 菜々美

【施策】
未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町

【施策】
未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町

【戦略的な目標】
町内の生涯学習拠点施設が積極的に活用され、多くの町民がつながりを持ちながら生涯学習に参加し、活動を通じて生きがいづくりや自己実現をめざす。

【評価の視点】
①町内の生涯学習拠点施設が積極的に活用されているか
②多くの町民が生涯学習に参加しているか
③活動を通して生きがいづくりや自己実現をめざせたか
④住民同士がつながりをもったか

【柱1】
地域の魅力を活かした学習機会の充実

【柱1】
地域の魅力を活かした学習機会の充実

【達成目標】
青少年が地域活動への参加を通して、自分の街の魅力に気付くとともに、地域とつながり、地域を盛り上げようとする意識を育む。

【評価の視点】
①自分の街の魅力に気付いたか
②地域とつながったか
③地域を盛り上げようとする意識を育めたか

【評価指標】
①地域への愛着度(アンケート調査により検証)
②イベントの参加者数、連携した団体数
③事業後の地域活動への意欲(アンケート調査により検証)

★…事業目的達成度

【事業】	【事業目標】	<アウトプット>	<アウトカム>
【事業】ヒロノジンNEXT♡ラブプロジェクト事業「ひろのカレッジ～みんなの学び場～番外編」としての中学生対象の実践学習	【事業目標】 ・中学生が学校間の垣根を越え、地域の資源や人材を活かした活動を通して、自分たちが暮らす地域の魅力に気づき、チャレンジ精神を養う。 ・学校運営協議会と地域学校協働活動を通じて、関係者間の連携を継続する。	<アウトプット> ○事業で知り合った人の数 ○地域の参加者数 ○中学生の参加者数 ○関わる団体の数	<アウトカム> ☆地域への愛着度 ☆事業への満足度 ☆学校関係者の満足度 ☆学習内容の理解度 ★参加者の意識・行動の変容度 ★地域と学校の連携した活動の回数
【事業】種市高校と連携した高校生自主企画事業	【事業目標】 ・高校生が様々な地域住民と関わりながら地域事業を企画し、実施することで地域の魅力に気づき、自ら地域に関わろうとする意識を育む。 ・地域住民が、地域活動に参画することで、若者のチャレンジ精神を支えるとともに、住民同士のつながりを強化する。	<アウトプット> ○学習した時間数 ○発信した情報量 (SNS・メディア) ○連携した団体数 ○イベントの参加者数	<アウトカム> ☆地域への愛着度 ☆活動に対する積極性の高まり ☆地域のつながり強化 ☆イベント参加者の満足度 ★地域における就業者数・活動者数増 ★地域の中での関係人口増
【事業】		<アウトプット>	<アウトカム>
【事業】		<アウトプット>	<アウトカム>
【事業】		<アウトプット>	<アウトカム>

【評価指標】
①生涯学習拠点施設の利用者数
②生涯学習事業(ひろのカレッジ等)の参加者数
③アンケート調査により検証
④生涯学習事業への参加者数、参加団体数

【関連部局における取組】
 ・岩手県の作家作品展(洋野町立種市図書館)
 ・放課後等デイサービス事業(洋野町社会福祉協議会)
 ・「子ども第三の居場所 ひろま〜れ」(社会福祉法人碧晴会)
 ・久慈地区家庭教育セミナー(岩手県PTA連合会)

【柱2】
世代間交流を通じた若者の活躍機会創出

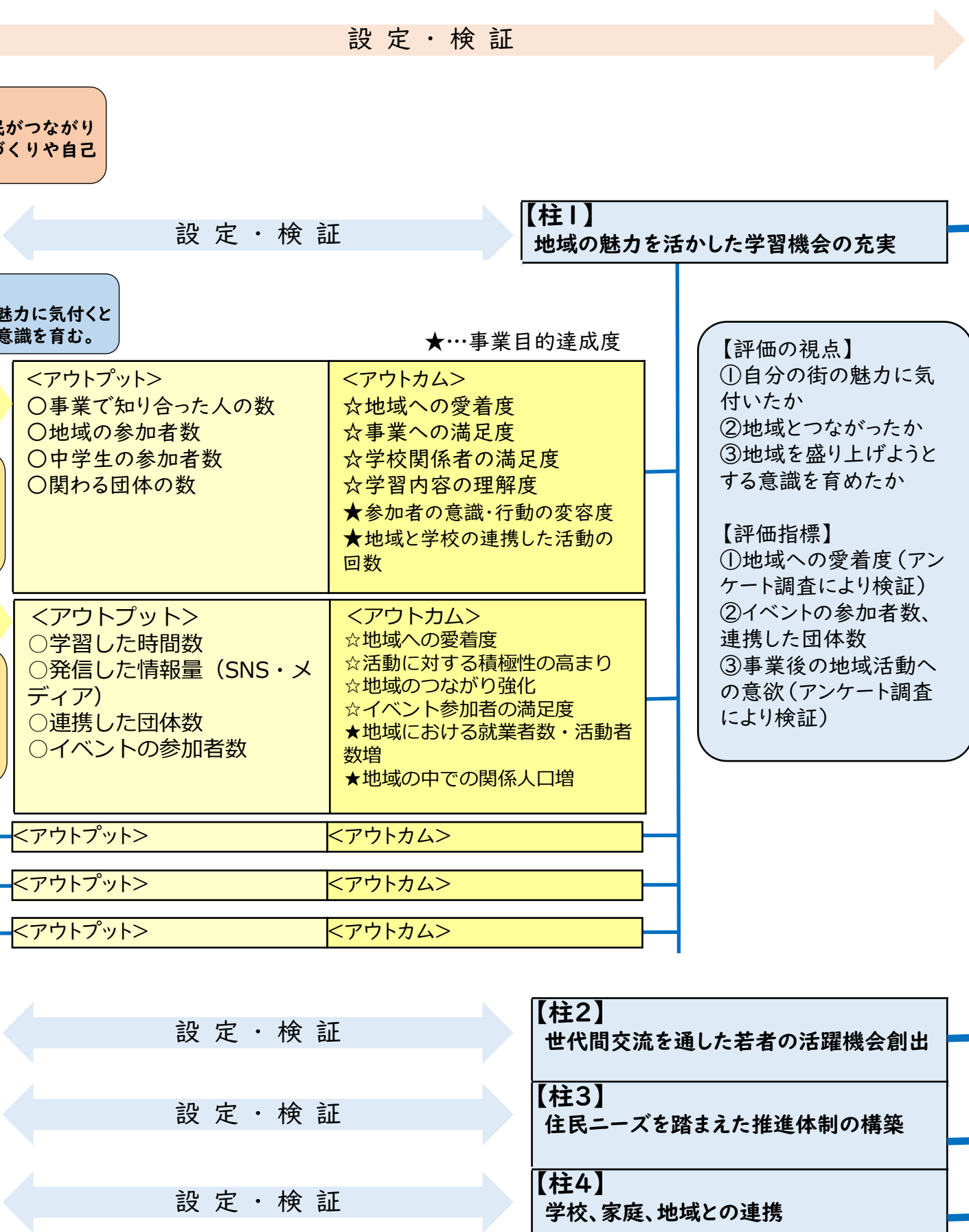
【柱2】
世代間交流を通じた若者の活躍機会創出

【柱3】
住民ニーズを踏まえた推進体制の構築

【柱3】
住民ニーズを踏まえた推進体制の構築

【柱4】
学校、家庭、地域との連携

【柱4】
学校、家庭、地域との連携





岩手県 洋野町

未来につなぐ、若者がつくる魅力ある洋野町

魅力的な資源いっぱい！

一人一芸の里づくり



現状・課題

- ①若者の地域離れや教育機会の不足
- ②人口減少と高齢化の進行
- ③若年層の町外流出による、地域活力の低下

柱1：地域の魅力を活かした学習機会の充実

柱2：世代間交流を通じた若者の活躍機会創出

柱3：住民ニーズを踏まえた推進体制の構築

柱4：学校、家庭、地域との連携

事業1

ヒロノジンNEXT♡ ラブプロジェクト事業

「ひろのカレッジ～みんなの学び場～番外編」

1年次(中1) 合同学校運営協議会

地域・町内中学校 3校合同 交流
(種市中・大野中・中野中)

2年次(中2) 3校合同学習

「ひろのカレッジ」への参加
飛び出せ！ヒロノジン (地域活動)

3年次(中3) 中学生からの提言発表会
地域の方とのランチ交流

中学生対象

事業2

種市高校と連携した 高校生自主企画事業

1年次(高1)

自主企画事業の計画

地域住民へのインタビュー、
連携先との連絡、調整

2年次(高2)

地域に向けた広報活動

自主企画事業の実施

成果物の作成・発表

高校生対象



FUTURE

Hop

Step

Jump!

地域魅力発見！

地域がつながる

ラブ♡洋野町

チャレンジを楽しむ！

成果・効果

中高生や地域の大人が共に洋野町の魅力に気付き、
地域活性化に向けたチャレンジをみんなで楽しむ洋野町に！

